

令和4年2月松江市議会予算委員会記録

1 日 時 令和3年3月18日（金）午前10時20分開議
2 場 所 本会議場

本日の会議に付した事件

議 第30号 令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）
議 第41号 令和4年度松江市一般会計予算
議 第42号 令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計予算
議 第43号 令和4年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算
議 第44号 令和4年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算
議 第45号 令和4年度松江市介護保険事業特別会計予算
議 第46号 令和4年度松江市企業団地事業特別会計予算
議 第47号 令和4年度松江市公園墓地事業特別会計予算
議 第48号 令和4年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算
議 第49号 令和4年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
議 第50号 令和4年度松江市水道事業会計予算
議 第51号 令和4年度松江市下水道事業会計予算
議 第52号 令和4年度松江市ガス事業会計予算
議 第53号 令和4年度松江市交通事業会計予算
議 第54号 令和4年度松江市病院事業会計予算
議 第57号 令和3年度松江市一般会計補正予算（第12号）
承認第2号 専決処分の報告について（令和3年度松江市一般会計補正予算（第10号））

出席委員（33名）	委員	森川	本島	秀光	歳雅
委員長 三島良信	委員	川	倉	徳	章
副委員長 石倉茂美	委員	石	倉	明	子
委員 小澤一竜	委員	田	中		隆
委員 中村ひかり	委員	吉	金	幸	好
委員 たちばなふみ	委員	森	脇		巖
委員 三島明宏	委員	南	波	良	治
委員 山根邦彦	委員	津	森	勇	人
委員 海徳邦彦	委員	森	脇	弘	光
委員 村松りえ	委員	川	井		進
委員 原田守	委員	三	島		
委員 舟木健治					
委員 野々内誠行	欠席委員（なし）				
委員 錦織伸輔					
委員 河内大明	欠員（なし）				
委員 細木明美					
委員 太田哲肇	事務局職員出席者				
委員 田中とき	事務局長	福島	恵美子		
委員 米田雅之	事務局次長	永井	秀之		
委員 岩本修二	（総務課長）				
委員 長谷川治嗣	議事調査課長	竹田	優雅子		
委員 柳原津直	書記	仲田	雅彦		
	書記	門脇	保		

書	記	梶	田	崇	光
書	記	月	森	致	子
書	記	松	浦	真	人
書	記	池	田	真	理
書	記	山	根	広	大
説明のため出席した者					
市	長	上	定	昭	仁
副	市	能	海	広	明
副	市	講	武	直	樹
副	市	平	林		剛
政	策	山	根	幸	二
総	務	小	村		隆
総	務	永	田	幸	子
防	災	永	田	明	夫
財	政	水		研	二
財	政	松	原		正
(財政課長)					
産	業	森	原		透
観	光	高	木		博
市	民	吉	田	紀	子
福	祉	湯	町	信	夫
健	康	足	立		保
保	健	岸	本	和	之
子	育	林		忠	典
環	境	花	形	泰	道
歴	史	松	尾	純	一
都	市	爲	國	岳	彦
消	防	堀	江		剛
会	計	杉	谷		薫
教	育	藤	原	亮	彦
副	教	寺	本	恵	子
副	教	成	相	和	弘
上	下	小	塚		豊
ガ	ス	山	内	政	司
交	通	須	山	敏	之
市	立	吉	川	浩	二
病	院				
事	務				
局	長				

〔午前10時20分開議〕

○三島（良）委員長 これより、予算委員会を開きます。

本日の審査順序につきましては、お手元にお配りしております審査順序案のとおりとすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 御異議がないようですので、そのように決定いたします。

議 第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」

議 第41号「令和4年度松江市一般会計予算」
議 第42号「令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」
議 第43号「令和4年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」
議 第44号「令和4年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」
議 第45号「令和4年度松江市介護保険事業特別会計予算」
議 第46号「令和4年度松江市企業団地事業特別会計予算」
議 第47号「令和4年度松江市公園墓地事業特別会計予算」
議 第48号「令和4年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」
議 第49号「令和4年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算」
議 第50号「令和4年度松江市水道事業会計予算」
議 第51号「令和4年度松江市下水道事業会計予算」
議 第52号「令和4年度松江市ガス事業会計予算」
議 第53号「令和4年度松江市交通事業会計予算」
議 第54号「令和4年度松江市病院事業会計予算」
承認第2号「専決処分の報告について（令和3年度松江市一般会計補正予算（第10号））」

○三島（良）委員長 議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」、議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」から議第54号「令和4年度松江市病院事業会計予算」、以上議案15件及び承認第2号「専決処分の報告について」を一括して議題といたします。

各分科会における審査について、それぞれ分科会長の報告を求めます。

河内大輔総務分科会長。

〔河内大輔委員登壇〕

○河内総務分科会長 予算委員会から総務分科会に分担、委託されました議案7件につきまして、3月4日及び3月7日に分科会を開催し審査を行いましたので、御報告申し上げます。

議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」中は、質疑において主なものとして、自主財源の確保に関する質疑に対し執行部より、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いたら、使用料・手数料を再度適切に見直していく必要がある。また、滞納対策の取組や未利用財産の売却、さらに国や県の制度を研究し有効な財源の確保を徹底していくなど、こうした視点から中期財政見通しを毎年見直していきたいと考えている。

次に、コロナ禍を踏まえ、市税の滞納繰越の状況を伺うとの質疑に対し執行部より、令和2年度から令和3年度への滞納繰越の際は、国の新型コロナウイルスに対する特例措置により徴収猶予が認められたことから、猶予による滞納繰越分が約3億1,000万円分増加していたが、令和4年2月時点で3億1,000万円のうち92%は納めていただいて

いる。令和4年度の滞納繰越分は、令和元年度と同程度を見込んで予算編成したところである。

次に、電源立地地域対策交付金を活用した防犯灯の設置及び電気代補助の状況についての質疑に対し執行部より、防犯灯の電気代については、町内会に加入されている団体については100%、それ以外の団体についても3分の1を助成している。また、防犯灯の設置についても、費用の3分の2を助成しており、その結果、蛍光灯からLED灯への置き換えが進み、現在では約1万8,000灯あるうちの1万灯、全体のおよそ55%がLED化されたところである。

次に、地域振興策として鹿島町、島根町、美保関町にそれぞれ集落支援員を配置する趣旨を伺う。また、旧市内の郊外を含めたバランスの取れた発展について見解を伺うとの質疑に対し執行部より、集落支援員は、現在美保関町に1名配置しているが、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき鹿島町、島根町も過疎地域に指定されたことから、来年度から新たに鹿島町、島根町にも1名ずつ、合計3名を配置することで、これまでに各地域の方々からいただいたアイデアの具現化を図るとともに、3名が連携を図りながら過疎地域共通の課題解決に取り組むなど、過疎地域脱却に向けた取り組みを進めたいと考えている。また、旧市内も含めた市内29公民館を対象にした地域版まちづくり総合戦略事業補助金により、現在、地域版総合戦略を策定していただいた16地区において、地域の課題解決に向けた取り組みを支援している。今後は、土地利用の方向性なども出した上で、地域の実情に応じた整備や支援を考えていきたい。今回、支所は、政策部から市民部へ移管となるが、集落支援員は政策部直轄で指揮を執るなど全庁横断的に連携を図り、バランスの取れた地域の発展にしっかりと取り組んでいきたい。

次に、行政情報住民告知システムの屋内告知端末の設置率が低い背景には、ケーブルテレビへの加入がネックになっていると考えられる。設置率向上に向けた取り組みの状況を伺うとの質疑に対し執行部より、屋内告知端末の設置率は、世帯数の約3割にとどまっている。山陰ケーブルビジョンに対して、1台につき1万2,000円を補助しているところであるが、今後も設置率向上のため、現状を把握し対応を検討していきたい。

次に、男女共同参画推進の現状と今後の取組についての質疑に対し執行部より、本市における女性の管理職登用は、令和3年度目標値の20%に対し23.1%となった一方で、市民意識調査の結果によると、固定的な性別の役割分担意識は、目標値に達していない状況である。令和4年度は、育児介護休業法の改正に伴い産後パパ育休制度が創設されるので、市民に幅広く周知し、女性の活躍促進、男性の家事参画、地域社会への参画などにつながるよう、新たな事業も実施しながら市民の意識醸成に取り組んでいきたい。

次に、消防団車両の車種選定についての質疑に

対し執行部より、車種選定については、消防団と協議し決定したものである。

次に、議第42号「令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」は、質疑に対し執行部より、国保の基金残高は、2月補正後で16億9,900万円となる。都道府県化に伴って基金はどうか、今のところ明確には決まっていないが、今後の島根県及び各市町村との統一化の協議の中で、松江市の保有する基金は、松江市で活用していく方向で協議を進めたいと考えている。

次に、議第43号「令和4年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」は、質疑に対し執行部より、起債の元利償還金については、診療所が令和7年度末、医師住宅が令和5年度末をもってそれぞれ償還を終える予定となっているとの答弁がありました。

次に、議第44号「令和4年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」は、当該議案に関する質疑はありませんでした。

次に、議第47号「令和4年度松江市公園墓地事業特別会計予算」は、質疑に対し執行部より、現在、空き墓所は134区画で、毎年50区画程度の変動があるが、古い墓所ほど売れ行きが悪くなる傾向がある。市民の皆さんに購入したいと思っていただけるよう整備を続けていきたいと考えているなどの答弁がありました。

次に、議第48号「令和4年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」は、新たな事業が行われておらず、財産が有効に活用されていない状況について早急に対応するべきではないかとの質疑に対し執行部より、現在、財産区を持つ他自治体の事例を調査しているところであり、その結果も踏まえて、地元管理会の方々に提案したいと考えている。引き続き丁寧に説明をしながら、御理解がいただけるよう努めていきたいなどの答弁がありました。

議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」中は、当該議案に関する質疑はありませんでした。

以上で、総務分科会の報告を終わります。

○三島（良）委員長 これより総務分科会長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 質疑なしと認めます。

これをもって総務分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

細木明美教育民生分科会長。

〔細木明美委員登壇〕

○細木教育民生分科会長 予算委員会から教育民生分科会に分担、委託されました議案6件につきまして、3月8日及び9日に分科会を開催し審査を行いましたので、御報告申し上げます。

初めに、議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」中の質疑において主なものとして、ICT活用教育推進事業に関連し、教員用のタ

タブレット整備についての質疑に対し執行部より、現在、教員用のタブレットは全職員に整備はされておらず、その結果、子どもたちに対してＩＣＴの浸透が進んでいないのが現状である。少しずつ整備を進めてはいるがまだまだ十分ではなく、今後、教員１人に１台のタブレットが整備できるよう検討しているところであるとの答弁がありました。

障がい福祉サービス事業者等に対するＩＣＴ導入モデル事業及び生産活動拡大支援事業の現状についての質疑に対し執行部より、ＩＣＴ導入モデル事業については、当初予算から増額補正するものであり、既に３事業所に補助を行っており、現在さらに１３事業所から御希望をいただき協議を行っている。また、生産活動拡大支援事業については、現在１法人、３事業所から御希望をいただき協議を行っているとの答弁がありました。

議第４１号「令和４年度松江市一般会計予算」中の質疑において主なものとして、ＩＣＴ活用教育推進事業についての質疑に対し執行部より、令和４年度は、教育委員会のＩＣＴ教育推進体制の拡充を図り、教育現場におけるＩＣＴを活用した授業の円滑な導入、さらには授業内容の充実を実現できるように積極的に支援を行いたいと考えている。また、年度内を目途に松江市版ＧＩＧＡスクール構想を策定中であり、年次計画も含め、ＩＣＴ教育に取り組む基本方針を示していく。この中で、教員用タブレットの配備やポケットＷｉ－Ｆｉの家庭への貸出についても実現したいと考えている。さらに、先生方がタブレットを使いこなすことで、様々な作業の負担軽減が図られ、働き方改革につながるものと期待をしており、これについても実現に向けしっかりと取り組んでいきたいと考えているなどの答弁がありました。

学校留守番電話と公用携帯電話の運用についての質疑に対し執行部より、勤務時間外の保護者からの電話対応により教職員の勤務時間が長くなっている実態があるため、令和４年度は、小中学校各１校ずつのモデル校で学校留守番電話を運用し、成果や課題を分析していく予定である。また、緊急連絡対応用として、公用携帯電話を小中義務教育学校に各校１台ずつ配備する予定であり、緊急な場合に学校と連絡が取れる体制をとることとしているとの答弁がありました。

ブックスタート事業を再開するに至った理由や今後についての質疑に対し執行部より、平成１５年度から２年間実施していたが、事業の効果が明確に見えてこないという理由から中止していた。近年のコロナ禍で、自宅で過ごす時間が増え、スマートフォンなどのメディアによる育児が懸念されているため、この機会に、ぜひ絵本に触れていただきたいということで再開に至った。また、昨年７月にＮＰＯが各自治体に行った調査では、ブックスタート事業により読み聞かせにつながったとか図書館の利用が増えたなどといった効果も見えてきたので、来年度に再スタートすることになった。今後

の事業の拡大については、市独自の調査を行ったり、他自治体の状況も見ながら検討していきたいとの答弁がありました。

医療的ケア児の保育ニーズについての質疑に対し執行部より、医療的ケア児は市内に何十人かいらっしゃるが、主治医の意見で集団生活が可能なお子さんを保育所、幼稚園で受け入れることとし、令和４年度は保育所に１名、幼稚園に１名、幼保園に１名のお子さんを受け入れる予定であり、それ以外に対象のお子さんは、現在おられない。受け入れる３園については看護師を配置するとの答弁がありました。

エイズ予防対策推進事業についての質疑に対し執行部より、保健所では、無料・匿名で受けられるＨＩＶ抗体検査費用や陽性患者が発生した場合の対応など、各種研修への参加経費を当初予算で計上している。また、保健衛生課では、普及啓発事業ということで、世界エイズデーにあわせて、市立皆美が丘女子高の皆さんが行われる街頭活動での啓発グッズ等の支援をさせていただいている。また、患者の心理的フォローをしていただいているエイズカウンセラーの派遣や医療機関の研修事業として講師派遣経費の予算を計上している。子どもに向けたエイズ教育については、小中学校でも使えるような簡単な冊子を県と連携して作っており、希望の学校にはお配りして、授業で活用していただいているとの答弁がありました。

高齢者のＩＣＯＣＡへの移行についての質疑に対し執行部より、今年の３月から高齢者優待ＩＣＯＣＡを販売しており、３月７日現在の申請件数が１００件となっている。現在のバスカードが９月末まで使用できるので、徐々に浸透していくと考えているが、実績が上がらない場合は、適時、広報等に努めていきたいとの答弁がありました。

避難行動要支援者名簿の更新について、地域への支援者等に名簿情報を提供することへの同意確認についての質疑に対し執行部より、避難行動要支援者名簿を５年ぶりに更新するために、対象者約２万７、０００人に同意確認の文書を郵送し、返送していただくことにしている。郵送した文書の内容がお分かりにならなかったり、返送されなかったりすることも考えられるため、ケアマネージャー協会や民生児童委員協議会、各地区社会福祉協議会などに御協力をいただき、同意確認の文書が送られてくることなど、対象者の方に声がけをしていただく予定であるとの答弁がありました。

議第４５号「令和４年度松江市介護保険事業特別会計予算」は、認知症サポーターとキャラバンメイトの活動状況についての質疑がありました。

議第４９号「令和４年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算」の質疑において主なものとして、滞納状況についての質疑に対し執行部より、債権の収納率は、現年分については約９０％徴収できているが、滞納分については約６％から７％となっており、徴収が難しい状況である。この

滞納債権について、島根県や多くの他市町村でもされている債権回収業務委託を令和4年度から松江市も行う予定としているとの答弁がありました。

議第54号「令和4年度松江市病院事業会計予算」の質疑において主なものとして、院内のWi-Fi整備の完了時期についての質疑に対し執行部より、半導体の入荷状況にもよるが、新年度すぐに着手し、半年程度で整備が完了できるよう進めてまいりたいとの答弁がありました。

患者1人当たりの収入が増えることについての質疑に対し執行部より、当院のような急性期病院では、手厚く集中的な治療や看護を行うことにより在院日数を短縮し、次の後方病院に移っていただいている。結果的に、1人当たりの医療費単価は上がっていると認識しており、この傾向は、コロナが収束しても続くものと考えている。

次に、松江赤十字病院との連携と協力に係る基本協定に至った経緯と今後についての質疑に対し執行部より、経緯については、医療機器が非常に高価になってきている中で、疾患が稀な症例であったりする場合、松江赤十字病院と連携して効率的に医療機器を活用することが必要であるということもあり、協定を交わしたところである。今後、具体的には、放射線治療の導入や緩和医療の入院促進、また遺伝性疾患やがんに関するゲノム医療について連携してやっていきたいと考えているとの答弁がありました。

承認第2号「専決処分の報告について(令和3年度松江市一般会計補正予算(第10号))」の質疑において主なものとして、処遇改善臨時特例事業について、どういう判断で1月14日に専決処分されたのかとの質疑に対して執行部より、12月23日付で厚生労働省より事業内容について通知があり、事業の要件として、賃上げ効果が継続される取組を行うこと、収入を3%程度、月額9,000円引き上げること、令和4年2月から実施をすること、この3点が要件として挙げられた。翌日12月24日のオンライン説明会では、いろいろな自治体から、収入の3%程度、月額9,000円については、どちらが必須なのかという質問が寄せられ、国からは各クラブ側の判断で柔軟な運用を可能としているとの説明があった。本市としても、この説明を受け、3%程度の処遇改善で要件が満たされるものと認識をし、1月14日に専決補正をさせていただいたものであるとの答弁がありました。

また、この事業について近隣自治体の対応についての質疑に対し執行部より、県内8市のうち7市に公設児童クラブがあり、今回の国の制度で処遇改善を行うところが3市、独自で行うところが2市、行わないところが2市と伺っている。民設児童クラブにおいては、今回の国の制度で処遇改善を行うところが松江市も含めて3市、行わないところが1市と伺っており、松江市においては、33児童クラブ全てで行う予定と聞いているとの答弁がありました。

以上で、教育民生分科会の報告を終わります。

○三島(良)委員長 これより教育民生分科会長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島(良)委員長 質疑なしと認めます。

これをもって教育民生分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

川井弘光経済分科会長。

〔川井弘光委員登壇〕

○川井経済分科会長 予算委員会から経済分科会に分担、委託されました議案5件につきまして、3月10日、11日に分科会を開催し審査を行いましたので、御報告申し上げます。

議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算(第11号)」中は、質疑において主なものとして、第3表繰越明許費補正について、一委員からの日本海沿岸漁業振興費に関する質疑に対して、日本海沿岸漁業振興費は、鹿島・島根栽培漁業振興センターの配管設備工事及び取水ポンプインバーター盤設置工事によるもので、配管設備工事に使用する特殊な継ぎ手の搬入が遅れたり、インバーター盤に使用する半導体の入荷ができないことにより年度内の工事が難しくなったためであるとの答弁がありました。

また、別の委員から、港湾施設長寿命化対策事業費の質疑に対し、秋鹿北港の西防波堤長寿命化対策工事で2回入札を行ったが、いずれも応札者がなく契約ができなかった。3度目は冬期に入り、海上工事であり工期が確保できなくなるため、令和4年度に繰り越して工事をしたい。早期に発注し契約したいと考えているとの答弁があり、また、別の委員からの農林水産施設災害復旧費について、既に事業に着手しているのかとの質疑に対し、災害復旧工事の発注はまだ実施できていない。昨年12月末まで国の査定があり、今年1月に増高申請等を行ったこともあり、現在工事の発注準備を行っている。耕作期間を外した秋口から本格的に災害復旧の工事に着手する考えであるとの答弁がありました。

また、松江市観光施設管理運営費の家賃減免についての質疑に対し、コロナ禍における地ビール館の営業状況等について聞き取り調査を行い、10月から3月まで6か月分の家賃を減免したことへの補助金であるとの答弁がありました。

また、事業継続支援給付事業についての質疑に対し、当初、売り上げが50%減少した個人・法人が対象であったが、20%に引き下げ、個人については1,599件、法人は1,174件の事業者を支給したとの答弁があり、また、地域との協働型の産業人材の育成事業費についての質疑に対しては、地域おこし協力隊が、任期満了の1年前または満了後2年以内に市内で起業した場合、起業にかかる費用について100万円を上限に補助するものであり、特別交付税が全額充当されるとの答弁がありました。

次に、議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」中は、質疑において主なものとして、農林水産業に

関するものとしては、新規就農者経営発展支援事業費についての質疑に対し、新規就農の問い合わせに対しては、随時相談を受ける体制を整えている。県、JA、ふるさと島根定住財団などと一体となり、県立農業大学校での就農を促す取組や県外のUIターンフェアなど、こちらの方から出向いて積極的に関わりながら取り組んでいるとの答弁があり、また、土地改良事業費についての質疑に対しては、圃場整備事業は規模にもよるが、3年前から基礎設計のようなことを行い、実施設計で1年、その後工事期間は延びることはあるが、5年程度はかかり、要望をもらってから完成まで10年程度かかっている。近年実施している圃場整備は県の事業であるが、県は現在、高収益作物の推奨6品目の耕作を進めており、それらの高収益作物を作ることが一つの条件となっているとの答弁があり、また、森林環境譲与税の使途についての質疑に対しては、今年度から、地域等で実施する里山整備に活用できる補助金を創設した。事業費の3分の2で上限50万円を補助するものである。森林所有者だけでなく、地域の方々にも山に関心を持っていただけるような制度となっている。

また、それに関連した木材の利用促進の質疑に対しては、公園緑地課と協議を行い、楽山公園などに市産材を用いたベンチを設置する予定であり、森林環境譲与税を財源に予算化しているとの答弁がありました。

また、地場農産物生産・消費拡大推進事業費について、資料の中に、「野菜の保存方法の確立による供給期間の拡大が課題」とあるが、どうしたらその保存方法が確立されるのかとの質疑に対し、特に一番課題としているのがタマネギの保存であり、給食に出すタマネギが夏前にできるが、夏休みに入り2学期が始まるまで涼しいところで保存することが非常に難しい。令和3年度中にJAしまねのタマネギの集出荷施設が斐川にできると聞いている。そこで乾燥、冷蔵ができると2学期によいものが提供できる状況になるとの答弁がありました。

商工業、定住に関するものとしては、関係人口創出事業費についてのテレワーク・デイズMATSUE事業に関する質疑に対し、ワーケーションで来ていただくため、一般的なワーク・プラス・バケーションではなく、ワーク・プラス・コミュニケーションをキーワードに、マインドフルネス体験や市内企業の方などとの交流に加え、セキュリティ認証を受けた施設の紹介など松江ならではのポイントをPRして取り組んでいくとの答弁があり、職人商店街創出事業費についての質疑に対しては、調査結果を報告書に取りまとめた後、それを基に実施計画を作り、工芸作家と十分にコミュニケーションを取りながら事業を推進していく。工芸作家等を中心に協議会を立ち上げ、地元働きかけながら既存店舗のリノベーションや拠点づくりといった取り組みを一步前進させていくとの答弁がありました。

また、別の委員から、既存店舗のリノベーション

の補助に関する質疑に対し、補助制度を検討しているが、支援制度を作るための推進組織である推進協議会を立ち上げ、その中で支援体制や支援制度、どのような取組が必要かを議論した上で制度設計に入っていくとの答弁があり、また、松江市事業復活支援金給付事業費についての質疑に対し、事業継続給付金や経営支援給付金の実績に基づいた体制を想定し、民間事業者へ入札により委託する考えである。市報、新聞への折り込みチラシ、市内の商工団体等を通じた会報誌などを利用し広報を行っていくとの答弁がありました。

また、テルサ管理費、テルサ大規模改修事業の質疑に対し、令和4年度はエレベーターの更新を予定しており、それに対して起債を充当している。令和5年度から令和9年度まで、各年度約4,000万円近くから5,000万円の改修計画があり、緊急性の高いものから順次更新、改修を予定しているとの答弁がありました。

次に、観光に関するものとしては、松江水郷祭補助金についての質疑に対し、市民の方、観光客の方が安心・安全で花火を見ていただくことを最優先に考えているが、商工会議所を中心としたメンバーの推進会議の中で議論を進めているところであり、大きなイベントはコロナの状況がわからないため、令和元年度並みの事業をしたときにできるような予算をお願いしている。その財源としては、ふるさとだんだん基金を充当しているとの答弁がありました。

次に、議第46号「令和4年度松江市企業団地事業特別会計予算」は、質疑において主なものとして、整備事業費についての質疑に対し、境界が不明確であったり分筆が必要になったりした時の登記費用であるとの答弁がありました。

次に、議第52号「令和4年度松江市ガス事業会計予算」の質疑では、原料の値上がりが続いた場合、自動的に料金にどんどん反映されていくものなのかとの質疑に対し、原料費調整制度で、5か月前から3か月前の原料価格の平均を取り、2か月のタイムラグを置いて反映される。5か月ぐらい遅れて反映をしていくものではあるが、この方式に基づいて今後やっていくとの答弁があり、また、設備の耐用年数、設備費に関する質疑に対し、定期的にメンテナンスを行って、約40年から約50年もつというふうに言われており、あと20年ぐらいもつと思われる。設備費は10年の平均が1,700万円程度になっているとの答弁がありました。

次に、議第53号「令和4年度松江市交通事業会計予算」は、質疑において主なものとして、建設改良事業についての質疑に対し、レイクラインは1台、更新のために新車を購入し、路線バスの車両については、中型車両4台は更新、残りの1台は事故による保険賠償金と自主財源で、事故車両の代わりの車両を購入する予定であるとの答弁があり、また、別の委員からのレイクライン車両等の電動化についての質疑に対し、保有する車両のうち、現在ハイブ

リッドが2台で、その他はディーゼルである。最近ディーゼルエンジンも環境にやさしいエンジンになってきている。ハイブリッドは大型車両しかなく、レイクラインは大型車両が入れないところがあるためハイブリッドにできない。電気についても、走行距離、メーカーでの維持の不安があり、残りを更新する際に、時代に応じて安心できるものがあれば購入していこうと考えているとの答弁があり、また、ICカード利用についての質疑に対しては、令和3年4月からレイクラインがトップを切ってICカード利用が開始された。利便性向上のために実施したものであるため、十分にPRをしてICカードの便利さを伝え、認知度を広めて利用促進につなげていくとの答弁がありました。

以上で、経済分科会の報告を終わります。

○三島（良）委員長 これより経済分科会長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 質疑なしと認めます。

これをもって経済分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

岩本雅之建設環境分科会長。

〔岩本雅之委員登壇〕

○岩本建設環境分科会長 予算委員会において、建設環境分科会に分担、委託されました議案4件につきまして、3月14日、15日に分科会を開催し審査を行いましたので、御報告申し上げます。

議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」中では、質疑において主なものとして、都市構造再編集中支援事業を繰越明許費に追加した理由についての質疑に対し執行部より、令和3年度に発注した3件の業務委託に関し、コンサルタント業者が令和3年7月の災害復旧業務を優先することになり、年度内の完成ができなくなったため繰越明許費に追加するとの答弁がありました。

また、公園遊具改修を、年度を前倒して実施することについての質疑に対し執行部より、今年度公園遊具を専門技術者で点検し、新たに使用禁止としたものを含め、使用禁止が20基となったところ、国の令和3年度補正に呼応して、補助要件に該当する7基を、年度を前倒して改修するものであるとの答弁がありました。

議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」中では、質疑において主なものとして、土地利用規制のあり方検討事業において、一般市民への説明や関係地域への意見聴取の機会はあるのかという質疑に対し執行部より、アンケートを実施し市民の方々の意見を集約したい。また、有識者を交えたシンポジウムを開催し意見を伺うことも想定しているとの答弁がありました。

また、まちのReeprojectについての質疑に対し執行部より、令和4年度予算は広報関係が主であるが、中心市街地のにぎわいづくりのためには、プレーヤーを発掘し、チャレンジしたい気持ちになってもらうことが必要だと思っている。

令和4年度はプレーヤーの発掘、また、リノベーションまちづくりに協力いただける空き家、空き店舗のオーナーの方々を見つけていく期間としたいとの答弁がありました。

令和4年度の住宅政策の位置づけについての質疑に対し執行部より、平成30年に策定した10年計画である住宅マスタープランが令和4年度に中間見直しの時期を迎えることから、外部委員会を設置し、見直しの中で3世代同居や近居などについて検討してまいりたいとの答弁がありました。

公園のあり方検討事業についての質疑に対し執行部より、都市公園の約7割が20年以上経過し、施設が老朽化したり利用者のニーズが変わったりして、利用頻度の少ない公園、未利用の公園がある。市民の皆様のニーズをしっかりと聞き、今後どうしたら魅力的な公園にしていけるのかということ議論するとともに、公園を使用して地域の活性化を図りたいという地域や民間のプレーヤーとなる方を発掘していきたいとの答弁がありました。

地籍調査の事業見直しについての質疑に対し執行部より、スピード感をもってやらないと、土地の境界がわかる人がいなくなっていることで、市としても国へさらなる予算の要望を図りながらペースアップをしたいとの答弁がありました。

また、ブロック塀等安全確保事業についての質疑に対し執行部より、現在の要綱では、公道の通学路が対象であるが、私道であっても通学路に指定されているところがあることから、来年度に向けて拡充できないか検討しているとの答弁がありました。

A I デマンドバス導入に関する住民への説明についての質疑に対し執行部より、八束や美保間で、地元主導で勉強会が行われ、導入に向けて話が進んでいる。今後も丁寧に議論を進め、協議を詰めてまいりたいとの答弁がありました。

また、まっえ環境市民会議と次世代リーダーの育成についての質疑に対し執行部より、市民、事業者、行政の連携によるまっえ環境市民会議において環境活動を展開しているが、メンバーの高齢化や固定化が否めない。若い世代の参加を促し、教育していくことが必要であり、子どもたちとのコラボ、親子での参加などによる体験活動を通して、家庭や学校、社会教育など幅広い場面で連携しながら環境教育、学習を続けていきたいとの答弁がありました。

道路の区画線の補修についての質疑に対し執行部より、令和3年度より補助を受けて実施しており、令和4年度も補助を受け、区画線の引き直しを行う計画としているとの答弁がありました。

議第50号「令和4年度松江市水道事業会計予算」では、質疑において主なものとして、管路耐震化率についての質疑に対し執行部より、基幹管路耐震化率は、令和2年度実績で58.6%、令和4年度末の見込みで62.2%であり、国が目標とする令和4年度末で50%以上を大きくクリアしているが、これからも計画的に耐震化を進めていくとの答弁がありました。

また、旧簡易水道区域への財政支援要望につい

ての質疑に対し執行部より、令和2年度に日本水道協会等の協力を得て全国調査を実施した上で、財政支援要望を行ったところ、新たな財政措置が導入されたが、これによると設置自治体の財政負担が増える。令和4年度に向けては、アンケート調査を実施し、全国的な状況を踏まえて、全国市長会、全国町村会と連携し、設置自治体及び水道事業者の負担軽減の視点から継続して要望を実施してまいりたいとの答弁がありました。

旧簡易水道の高料金対策繰入金が昨年度に比べて5,000万円減額となっていることについての質疑に対し執行部より、旧簡易水道の高料金対策繰入金は、国の激変緩和措置に基づき令和4年度から1割減って、5年後には全部なくなるとの答弁がありました。

議第51号「令和4年度松江市下水道事業会計予算」では、質疑において主なものとして、県流域下水道事業の建設負担金についての質疑に対し執行部より、数百億円規模の改修が必要と試算され、建設改良等について計画的なものを提示してもらえよう努力しているとの答弁がありました。

また、松江市の集落排水事業の公共下水道等への接続の考え方についての質疑に対し執行部より、23処理区ある農業集落排水事業のうち5処理区について現在、接続を計画し国から事業計画変更の許可を得ている。湖北地区にある農業集落排水事業は、施設建物の耐用年数があるので、まずは建物内の電気機械設備等を更新し、建物及び躯体を更新するときに地域の状況を見ながら接続を考えていく。また、漁業集落排水事業は、処理戸数が少なく、接続しても費用対効果が望めないと考えており、将来的に集落の状況を見ながら、集合処理か個別の家に合併浄化槽を置くかなどの判断をしているとの答弁がありました。

以上で、建設環境分科会の報告を終わります。

○三島（良）委員長 これより建設環境分科会長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。
〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 質疑なしと認めます。

これをもって建設環境分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

討論、採決につきましては、議案番号順に1件ずつ行います。

初めに、議第30号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第11号）」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第30号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第30号は、原案のとおり可決すべきも

のと決しました。

次に、議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」についての討論に入ります。意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 共産党市議団の田中肇です。反対の立場で意見を述べます。

評価すべき点としては、まずコロナ対策として、学校や公民館のトイレ洋式化が、建物全体の大規模改修時以外に改修を進めるという計画が立てられたことや、ブックスタート事業の再開、これは市民要求が予算に盛り込まれたこととして評価いたします。

男性版産休のスタートに合わせて、育休取得の啓発事業も男女ともに働きやすい職場づくり、ジェンダー平等を目指す観点から評価いたします。

しかし、1点目として、原発交付金の使途が経常経費に充てられていること、2点目に保育所・児童クラブの待機児童解消が追いついていないこと、3点目に特定の市民団体への優遇補助金の問題、4点目に市民の情報管理を目的とするマイナンバーカード普及拡大の予算であるという4つの理由で反対をいたします。

○三島（良）委員長 海德委員。

○海德委員 公明クラブの海德邦彦でございます。

議第41号 令和4年度松江市一般会計歳入歳出予算について、会派を代表して賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

歳入では、市税及び地方消費税交付金が増額を見込んだところであり、地方交付税と臨時財政対策債を合算した実質の地方交付税の総額の減額に対し、財政調整基金の取崩しや減収補填債等で補うなど、予算総額1,035億7,800万円とし、工夫した歳入予算となっております。

歳入では市長が施政方針にお示しになられた「松江のジグザグをつくる」を基本理念とし、「夢を実現できるまち、誇れるまち松江」の創造に向け、5つの柱である「しごとづくり」「ひとづくり」「つながりづくり」「どだいつくり」「なまかつくり」を重視した予算となっております。

子育て支援においては、ブックスタート事業、医療的ケア児支援事業など、新規4事業を含む計14事業によって、みんなで子どもを育てる子育て環境日本一松江が加速的に進むものと評価いたします。

令和3年7月、8月豪雨災害の復旧や大規模災害の対策のため、ハード面では、道路、河川の整備事業、急傾斜地崩壊対策事業などの予算が組み込まれております。

ソフト面では、島根町加賀の大火を教訓に、火災予防活動として、加賀地区と類似の木造住宅密集地域に対して住宅用火災警報器の設置、維持管理の取組、指揮単位の育成、消防団員の負担軽減に向けた消防団アプリの全団員導入への予算が組まれております。

なお、子どもを守る交通安全対策事業や、子どもたちが遊びたくなる公園づくり事業、公園の在り方検

討事業は、未来の宝である子どもたちのために、確実に執行していただきますようお願いいたします。

観光振興では、新型コロナウイルス感染症の難局を克服し、新たな時代をつくるため、変革の年と考え、ウイズコロナ・アフターコロナに対応した観光振興策を強力に推し進め、観光の需要のV字回復を目指すための予算が含まれております。宿泊客数160万人、観光入り込み客数837万人までの回復ができるよう期待をいたします。

環境施策では、エネルギー政策の推進とSDGs未来都市認定取得に向けての予算が組まれております。

以上のことにより、速やかな事業執行をお願いし、議第41号は賛成いたします。

○三島（良）委員長 吉金委員。

○吉金委員 松政クラブ吉金でございます。賛成の立場で討論をいたします。

昨年当選されました上定市長におかれましては、昨年は骨格予算ということで、自由度も少なかったことと思います。今年度におきましての予算編成が、本当に初めてのものになったかと思っております。しかしながら、現状はコロナ対策とか、ふえ続ける固定費の中、本当に工夫、工夫を重ねての市長の思いも込められた予算と考えました。そういうことで賛成をいたします。

○三島（良）委員長 柳原委員。

○柳原委員 明政会を代表して述べます。議第41号「令和4年度松江市一般会計予算」につきまして、賛成の立場で意見を述べます。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の克服に向けた対策と地域経済の回復に努めるなど重要な年であります。

歳入では、山陰地方の景気は総じて穏やかな持ち直しの動きがうかがえることから、地方税収の増加や公債費の減少による実質的な地方交付税の減額を見込み、不足する財源に対して、財政調整基金の取崩しや減収補填債の発行などで補う予算とされました。

予算総額では、新庁舎建設、総合文化センター整備などの大規模建設事業が本格化することにより、過去最大規模の予算総額1,035億7,800万円となっております。

歳出では、新型コロナウイルス感染対策として、医療体制の整備に係る経費や公民館・学校トイレの非接触化、洋式化、小中学校における感染症の拡大防止と対策のための職員の配置や、感染症拡大の影響を受け、国の制度の適用対象とならない事業者に対して、事業の継続・回復の支援などに努められます。早期な執行に取り組んでいただく体制を望みます。

また、新しい取組の中で、多彩な伝統工芸などが集まる商店街活性化に向けた松江らしい職人商店街にも取り組まれます。上定市長初めての1年を通した予算が、市民の暮らしと安心・安全を守ることに十分な効果を発揮できる予算編成と期待し、賛成といたします。

○三島（良）委員長 川島委員。

○川島委員 志翔の会代表の川島光雅でございます。賛成の立場で討論いたします。

令和4年度一般会計当初予算は、上定市長にとって本格予算であります。いよいよ松江のあるべき姿、将来像とする、夢を実現できる・誇れるまち松江がスタートいたします。現在進めていますまち・ひと・しごと創生人口ビジョン、第2次総合戦略も新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、今まで厳しい中での総合戦略への取組でありました。その中で、過去、転入・転出の社会動態の増加実績も残してきましたが、若者の県外への流出や女性の社会減が見受けられることも判明してまいりました。今議会に上程されています松江市総合計画の基本構想との整合性が図られる見込みで、長期的な視点からまちづくりに臨むことが必要であります。令和4年度一般会計予算は、コロナ禍にあつて市民の暮らしの安全・安心を優先し、地方創生への取組も十分に考慮した大型予算編成となっております。

特徴は、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策関連事業を積極的に継続的に実施し、その中でも、松江市事業復活支援金支給事業や観光事業V字回復事業など地域経済の下支え予算を盛り込み、手を緩めることなく、市民生活や経済の維持に積極的に取り組むとともに、新庁舎建設事業や松江の文化力の一翼を担う総合文化センターの整備など大規模建設事業も本格化することにより、昨年度当初予算よりも54億2,000万円増の過去最大規模の1,035億7,800万円となりました。

ここ数年、投資的経費も100億円前後で推移していたものが大きく増加し、新年度当初予算は約143億9,230万円になり、地域経済波及効果も期待されます。

市長がまちづくりに掲げる5つの基本目標、「しごとづくり」「ひとづくり」「つながりづくり」「どだいづくり」「なまづくり」も少しずつ具体像が見え出してまいり、総合戦略に照らした発展的な予算であります。

このたびの新型コロナウイルス感染症対策の中で、日本の行政のデジタル化の遅れが判明したことは確かであり、市民サービスへの拡充と、簡素でスピードアップを図るデジタル化やトランスフォーメーションを推進する取組や、環境問題にも取り組むエネルギー政策など、多岐にわたる持続可能な開発目標SDGs未来都市の内閣府認定取組を目指すなど積極的な予算案になっており、賛成するものであります。以上です。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第41号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第41号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第42号「令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 反対の立場で意見を申し述べます。

政府がようやく均等割保険料の減免に乗り出しました。市として、基金を使い、さらに均等割の減免の拡大、医療費窓口負担減免を実施すべきであり、反対をいたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

吉金委員。

○吉金委員 賛成の立場で討論をいたします。

もともと基金は、安定的な保険料の維持のために積み上げられてまいりました。若干ちょっとそういう部分では、過剰になっているというところの感じは受けるんですが、今回も、その使い方を都道府県に移行する前に、何らかの形で松江市に活用したいという考えを示されておりますので賛成です。

○三島（良）委員長 柳原委員。

○柳原委員 賛成の立場で討論いたします。

令和4年度松江市国民健康保険事業特別会計予算について意見を述べます。

人間ドック自己負担額の軽減などにより、保健事業の維持、適正化を図るとともに、国保事務処理標準システム導入をし、国保事務の標準化や効率化に取り組む予算であり、賛成いたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第42号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第42号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第43号「令和4年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第43号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第43号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第44号「令和4年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」について、討論に入ります。

意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 田中でございます。反対の意見を述べます。

この制度は、75歳になると独立した医療保険制度に加入させ、高齢者にとって重い負担を押しつけながら医療に格差をつけるものであり、反対をいたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第44号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第44号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第45号「令和4年度松江市介護保険事業特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 田中でございます。反対の意見を述べます。

第8期の介護保険事業において値上げされた介護保険料での予算であり、反対をいたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

吉金委員。

○吉金委員 賛成の立場で討論を行います。

現状はどうしてもこの介護保険というのがふえていく傾向にございますが、この介護保険事業というものを安定的に進めるために必要な予算であると考え、賛成いたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第45号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第45号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第46号「令和4年度松江市企業団地事業特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第46号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第46号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第47号「令和4年度松江市公園墓地事業特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第47号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第47号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第48号「令和4年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第48号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第48号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第49号「令和4年度松江市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算」についての討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第49号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第49号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第50号「令和4年度松江市水道事業会計予算」についての討論に入ります。意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 田中でございます。反対の意見を述べます。

地下水対策、滞納者に対する配慮等、努力されておりますけれども、県営水道事業の過大な見積による負担がのしかかり、水道料を押し上げています。値下げを求める市民の声が多く、反対いたします。

○三島（良）委員長 海德委員。

○海德委員 公明クラブでございます。議第50号「令和4年度松江市水道事業会計予算」について意見を述べさせていただきます。

純利益は、建設改良積立金に処分し、基幹管路及び防災拠点施設の耐震化事業費など、財源とすることが工夫されております。

また、給水車、自家用車用給水ベイの整備をし、災害時の応急給水対策に取り組んでおられます。さらに、市内全域の水道橋の漏水の有無、腐食による損傷等の点検を実施することで、大規模な漏水事故を未然に防ぎ、水道橋の機能維持及び安定供給を図る取組について評価し、賛成いたします。

○三島（良）委員長 ほかにありますか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第50号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第50号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第51号「令和4年度松江市下水道事業会計予算」についての討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第51号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第51号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第52号「令和4年度松江市ガス事業会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第52号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第52号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第53号「令和3年度松江市交通事業会計予算」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第53号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第53号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第54号「令和4年度松江市病院事業会計予算」についての討論に入ります。意見はありませんか。

田中肇委員。

○田中（肇）委員 田中でございます。反対意見を述べます。

コロナ感染症の最前線で市民の命を守るために奮闘されていることに心から敬意を表しますが、時間外選定療養費と初診時選定療養費を徴収する予算であり、反対いたします。

○三島（良）委員長 海德委員。

○海德委員 公明クラブでございます。議第54号「令和4年度松江市病院事業会計予算」について意見を述べさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症への日々の懸命な対応に対し、敬意を表するとともに心より感謝を申し上げます。

療養待合環境向上のため、Wi-Fi整備に取り組んでおられることや地域の中核的かつ高度急性期病院としての役割を担い、地域医療機関との連携強化、機能分化の推進に努められていることに対し評価いたします。

今後さらに、持続可能な地域医療供給体制の確立に期待をし、賛成いたします。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

吉金委員。

○吉金委員 賛成の立場で討論をいたします。

引き続きのコロナ禍の中で、大変厳しい経営状況だと思いますが、そんな中でも急性期の公立病院として、地域の松江赤十字などと連携を計らっておられまして、適切な予算だと考えます。

○三島（良）委員長 ほかにありますか。

柳原委員。

○柳原委員 明政会です。賛成の立場で意見を述べます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した医療提供体制に敬意を表します。

地域医療機関との連携強化に努められ、また、高度型がん診療連携拠点病院として、地域の中核病院としての役割を果たす予算として賛成します。

○三島（良）委員長 ほかに意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第54号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手多数であります。

よって議第54号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、承認第2号「専決処分の報告について（令和3年度松江市一般会計補正予算（第10号）」について、討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより承認第2号を採決いたします。

本案について承認することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって承認第2号は、承認すべきものと決しました。

次に、本日追加提案されました補正予算の審査をいたしますので、答弁予定のない執行部は退席いただきます。

委員の皆様は、しばらくお待ちください。

〔執行部入替〕

議 第57号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第12号）」

○三島（良）委員長 次に、議第57号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第12号）」を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

松原財政部次長。

○財政部次長（松原正） 財政課長の松原でございます。私のほうから、議第57号「令和3年度松江市一般会計補正予算（第12号）」について御説明いたします。

補正予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の保健衛生諸費（保健所関連）（新型コロナウイルス対策事業）につきましましては、新型コロナウイルス感染症に係るPCRなどの検査費用について増加が見込まれることから、補正予算を計上するものです。

新型コロナウイルス感染症につきましましては、令和3年4月から12月までで、検査件数2万6件、感染者数513人でございましたが、令和4年に入りまして、1月から3月15日までで、検査件数3万981件、感染者数2,139人と急増している状況で、引き続き速やかに検査を実施できるよう予算化をさせていただくものでございます。

歳入につきましましては、8ページ、9ページをお願いいたします。

1款市税、1項市民税、2目法人の現年課税分につきましましては、当初の見込みに比べまして収入が増加していることから、本補正予算の一般財源として計上させていただくものです。

16款国庫支出金、1項国庫負担金、2目衛生費国庫負担金の感染症予防事業費等国庫負担金（保健所関連）につきましましては、PCRなどの検査費用の2分の1を国庫負担金として受け入れるものです。

説明は以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○三島（良）委員長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 質疑なしと認めます。これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。意見はありませんか。

〔「なし」との声あり〕

○三島（良）委員長 ないようですので、これにて討論を終結いたします。

これより議第57号を採決いたします。

本案について原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○三島（良）委員長 挙手全員であります。

よって議第57号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、今期定例会において付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

これにて予算委員会を閉会いたします。

〔午前11時40分閉会〕